

新型コロナウイルス感染症対策及び季節性インフルエンザ予防対策 及び熱中症対策における各大会について

熊本県バスケットボール協会U12部会競技委員会

熊本県U12部会ガイドライン

(1) 陽性者／濃厚接触者／体調不良者の定義 (JBA第5版2022.5.12)

	定 義
陽性者	「陽性者」とは、以下の症状の有無にかかわらず、「PCR 検査・抗原検査により発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など新型コロナウイルス感染症と診断された者」を指します。
濃厚 接触者	「濃厚接触者」とは、「患者(確定例)」「(無症状病原体保有者)」を含む。以下同じ。)の感染可能期間に接触した者のうち ・患者(確定例)と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった者 ・適切な感染防護無しに患者(確定例)を診察、看護若しくは介護していた者 ・患者(確定例)の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者 ・その他:手で触れることのできる距離(目安として1メートル)で、必要な感染予防策なしで、「患者(確定例)」と15分以上の接触があった者 (周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染症を総合的に判断する) 現在(2022年4月7日)では、濃厚接触者の判定に保健所は介入しない場合あり 保健所により対応が異なる例 ・マスクなしで同一時間帯のスクリーメージを行ったメンバー(自チーム、相手チーム) ・マスクなしで飲食を共にした ・マスクなしで飲食を共にした
体 調 不良者	息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱などの強い症状のいずれかがある 重症化しやすい方(基礎疾患がある人)で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある 比較的軽い風邪が続く

【競技会／交流戦(練習試合等)】

責任者は競技者・コーチ等のスタッフ、審判等の直近2週間の健康チェック、全入場者の検温等の実施

大会におけるガイドラインを定め、大会前・大会当日において、開催や参加の可否を判断する

【虚偽の報告や誹謗中傷を行わない】

- ・チーム活動や競技会等への参加したいため、虚偽の報告を行わない
- ・関係者誰もが正しい報告ができる環境をつくる
- ・感染者や当該チームが出た場合、誹謗中傷をせず、活動再開が整えば、仲間として迎え入れる

○各大会における取り組み

1. 事前対応

- ・新型コロナウイルス感染症拡大及び季節性インフルエンザ防止、熱中症対策を検討し参加基準を策定(会場設営、役員の役割分担、選手及び指導者・保護者等の対応、事前の健康チェック等)
- ・各大会開催の※最終判断日の設定と対応の仕方を確認する

- ・感染対策責任者の設置 主催側、チーム側それぞれに設置し、連絡を取り合う

◆会議においての検討事項

- ・試合前、試合後に相手チーム、審判との握手は実施しない 咳エチケットを守ること

- ・両チームベンチへの挨拶を実施しない、円陣しない タオル、手拭きを共有しない
- ・倒れた選手に手を貸さない ハイタッチ、抱擁を行わない
- ・ボトルを共有しないこと私物も共有しない、筆記具も
- ・コート上でチームメイト、審判と会話する際にもお互いの距離について配慮すること
- ・ベンチではマスクを着用し、会話を控えること
- ※マスクに関しては、夏は熱中症の関係もあり、競技中は付けない等
マスクは「不織布」マスクを推薦するがプレー中は布、ウレタンを推薦
- ・サポーター数の策定、待機場所、導線の策定、熱中症対策の策定

2. 当日会場における対応

- ・受付及びオフィシャル、モップ係のフェイスシールド、ゴム手袋の確認
- ・消毒、競技者以外のマスク徹底、ベンチ、オフィシャルの消毒等
- ・手洗いの徹底、トイレは使用後蓋を閉めるなど周知
- ・更衣室の利用についての周知等 1Dチェック等 健康シートの確認など

3. 事後対応

万が一のために健康チェックシートを3ヶ月間保管
万が一がおきた時のために、近くの保健所との連絡体制をとっておく。

○参加チームに陽性者/濃厚接触者/体調不良者が判明した場合の対応

事前

- ・（主催側感染対策責任者）は当該チーム感染対策責任者と連絡を取り、状況を把握
- ・保健所、自治体へ連絡
- ・参加する場合は、当該チームの参加するメンバーには陽性者/濃厚接触者がいないことを主催者から他チームに連絡 ※参加基準参照 48時間ルールを通っても、保健所、学校と相談し、主催に確認
- ・辞退があった場合不成立で20-0となる。

前日、当日

- ・大会前日～大会中に新型コロナウイルス感染が強く疑われる体調不良者が発生した場合は、大会参加・活動を自粛
- ・チームとして体調不良者 発生時対応を行う
- ・大会主催感染対策責任者へ連絡/報告する
- ・陽性者/濃厚接触者が判明した時の該当者対応は保健所の指示に従う

大会継続の判断（予め取り決めておく）

- ・陽性者/濃厚接触者が判明した時の該当者対応は保健所の指示に従う
- ・感染拡大が懸念されると判断した場合は、事前の取り決めに関わらず、大会を中止
- ・陽性者/濃厚接触者が判明した時は大会を途中中止する判断もある

○熱中症対策について

- ・涼しい待機場所の確保、扇風機の設置、競技時間の短縮などの検討
- ・塩分入りの飲料を周知、氷のう持ち込み等、メディカルタイムの検討
- ・万が一のために近くの病院を事前検索 冷房付施設の待機場所確保

【コロナ及び季節性インフルエンザについての参加基準】

- （1）新型コロナ及びインフルエンザに感染している選手、コーチ、チーム関係者
- （2）新型コロナ及びインフルエンザ感染により学校閉鎖、学年閉鎖、学級閉鎖している学校に在籍している選手
 - ①学校閉鎖の場合はその学校に在籍している全ての選手、コーチ、チーム関係者
 - ②学年閉鎖の場合はその学年に在籍している全ての選手
 - ③学級閉鎖の場合はその学級に在籍している全ての選手
- （3）インフルエンザ感染の疑いがある選手
症状が治まっても、発症後 5 日、かつ下熱後 2 日以上経過していない選手は参加不可

※発症後 5 日とは、発症した日の翌日から 5 日間です。

解熱後 2 日とは解熱した日の次の日から 2 日間です。
当項目は、大会 1 日目、2 日目とも同様に適用します。

(4) コロナ感染の疑いがある選手（JBA第5版を参考）

大会参加基準 JBA第5版2022 5.12

チーム責任者・大会主催者向け 資料⑥

チーム内の選手・スタッフが
濃厚接触者として特定された場合の大会参加判断フロー



【大会参加可否の事例③ チームから濃厚接触者が出た場合】

チームが大会参加
できる事例

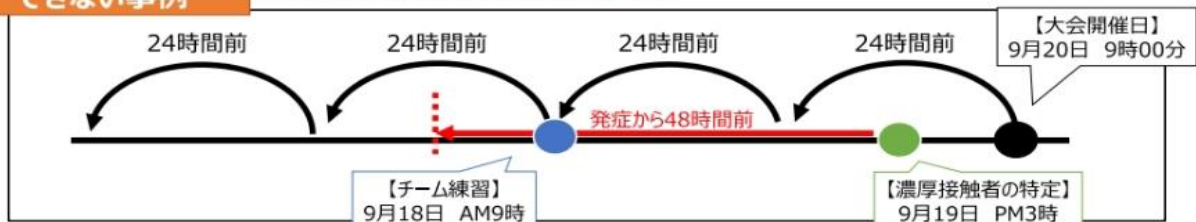
【解説】特定日から選って48時間以内にチーム練習を行っていません。そのため、濃厚接触者以外のメンバーでの大会参加は可能になります。
※試合を行える人数が揃わない場合は、自粛を検討してください。

※「検査結果日」ではなく「発症日」を基準としてください。



チームが大会参加
できない事例

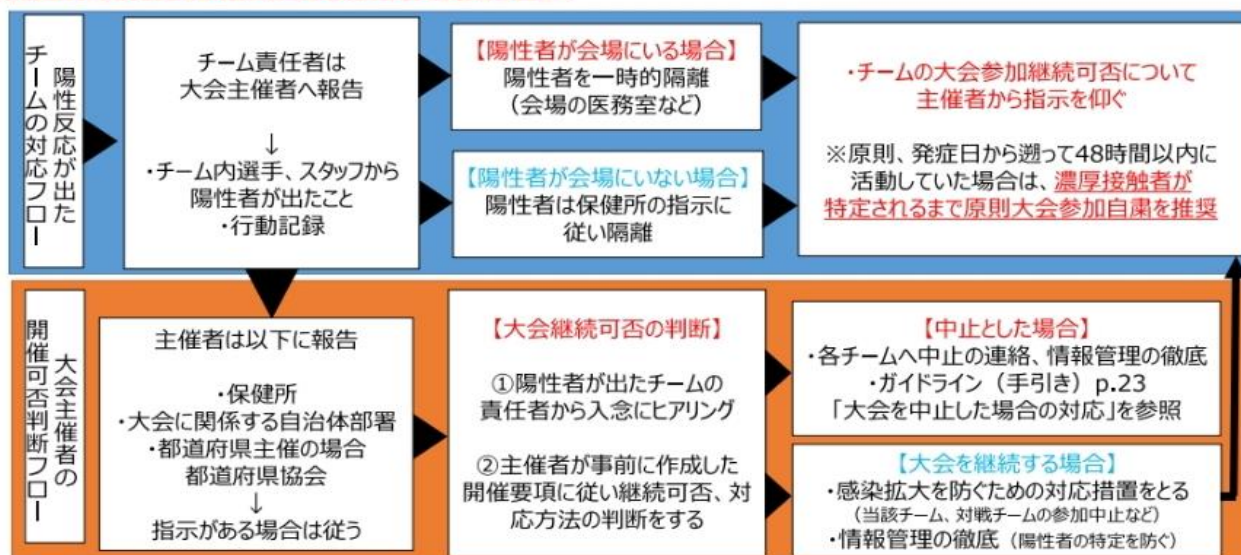
【解説】特定日から選って48時間以内にチーム練習を行っていました。この場合、チームは大会参加を自粛してください。



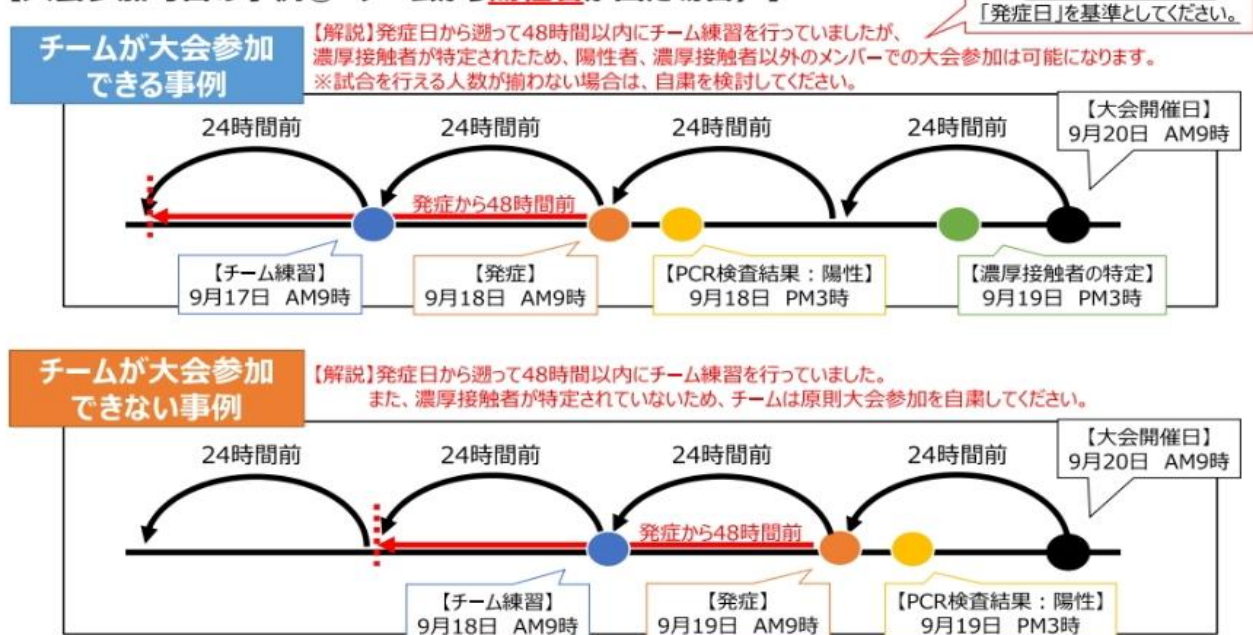
チーム責任者・大会主催者向け 資料⑤

チーム内の選手・スタッフから

大会中に陽性反応が出た場合の対応フロー



【大会参加可否の事例② チームから陽性者が出た場合】

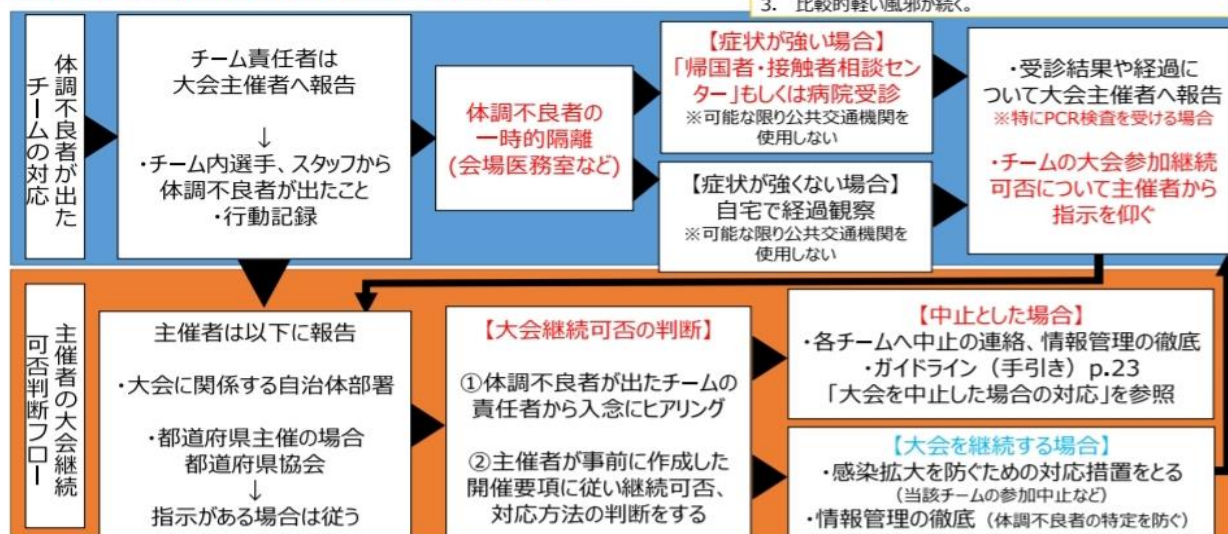


チーム責任者・大会主催者向け 資料④

チーム内の選手・スタッフから
大会中に体調不良者が出た場合の対応フロー

【体調不良の基準】

1. 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）
高熱などの強い症状のいずれかがある場合。
2. 重症化しやすい方（高齢者や基礎疾患がある人）で
発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。
3. 比較的軽い風邪が続く。



【大会参加可否の事例① チームから体調不良者が発生した場合】

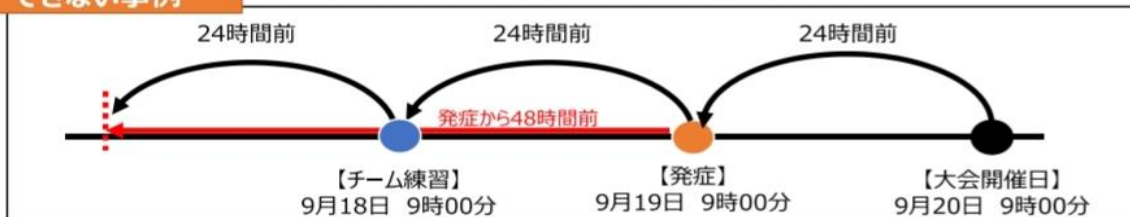
チームが大会参加
できる事例

【解説】発症日から遡って48時間以内にチーム練習を行っていないため、チームは参加可能です。体調不良になった方は参加を自粛してください。



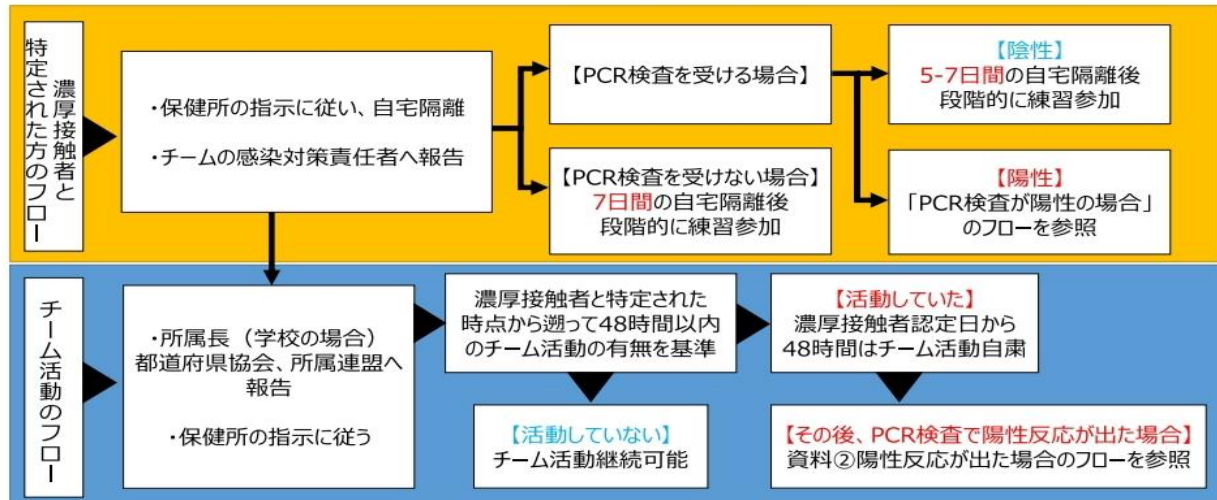
チームが大会参加
できない事例

【解説】発症日から遡って48時間以内にチーム練習を行っているため、チームは最低2日間活動を自粛することを推奨します。よって、大会参加も自粛が推奨されます。



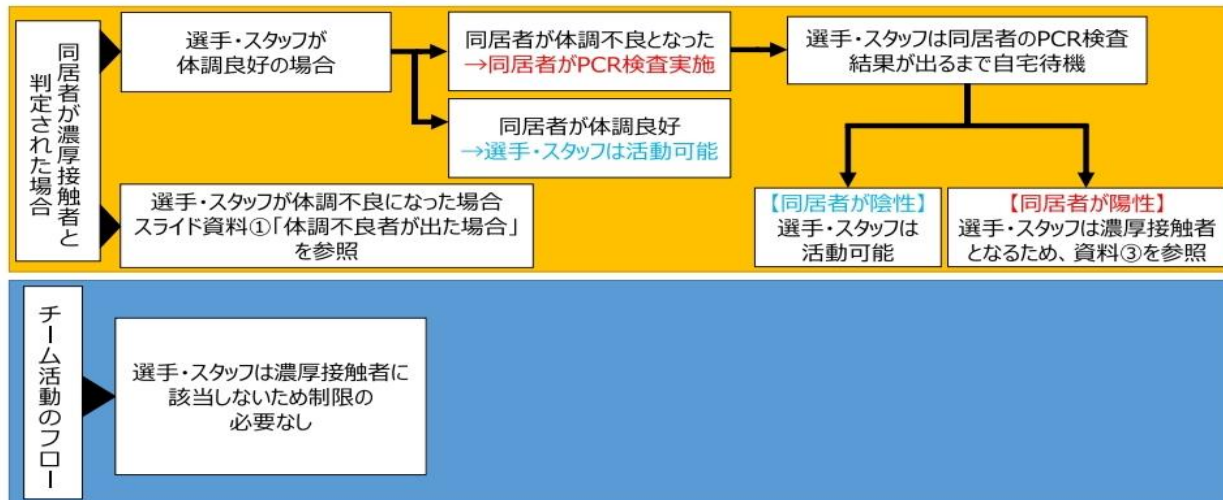
【チーム活動時におけるガイドライン】

資料③チーム内選手・スタッフから濃厚接触者として
特定された場合のフロー



【チーム活動時におけるガイドライン】

資料④チーム内選手・スタッフの同居者が濃厚接触者として
特定された場合のフロー

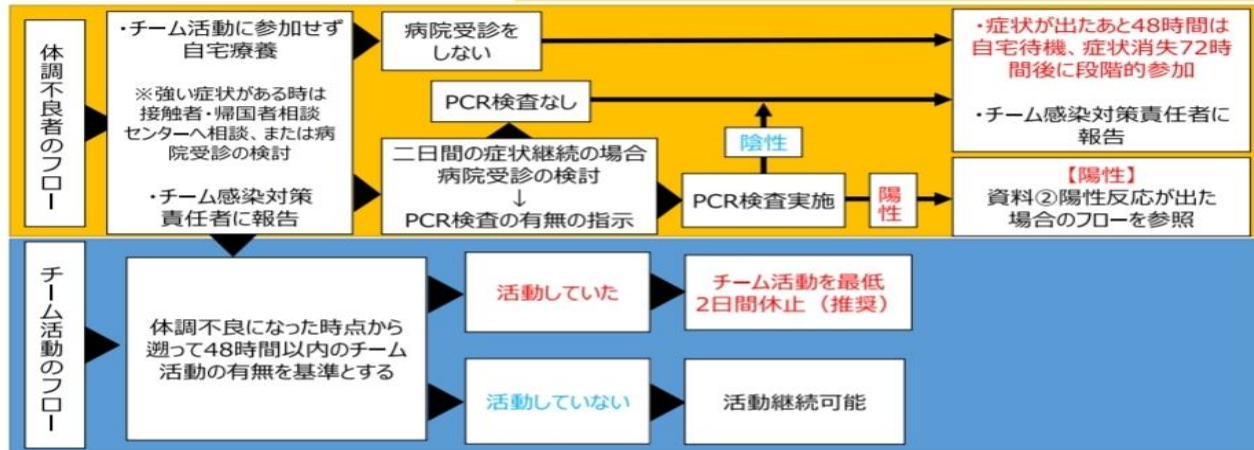


【チーム活動時におけるガイドライン】

資料①チーム内の選手・スタッフから 体調不良者が出た場合のフロー

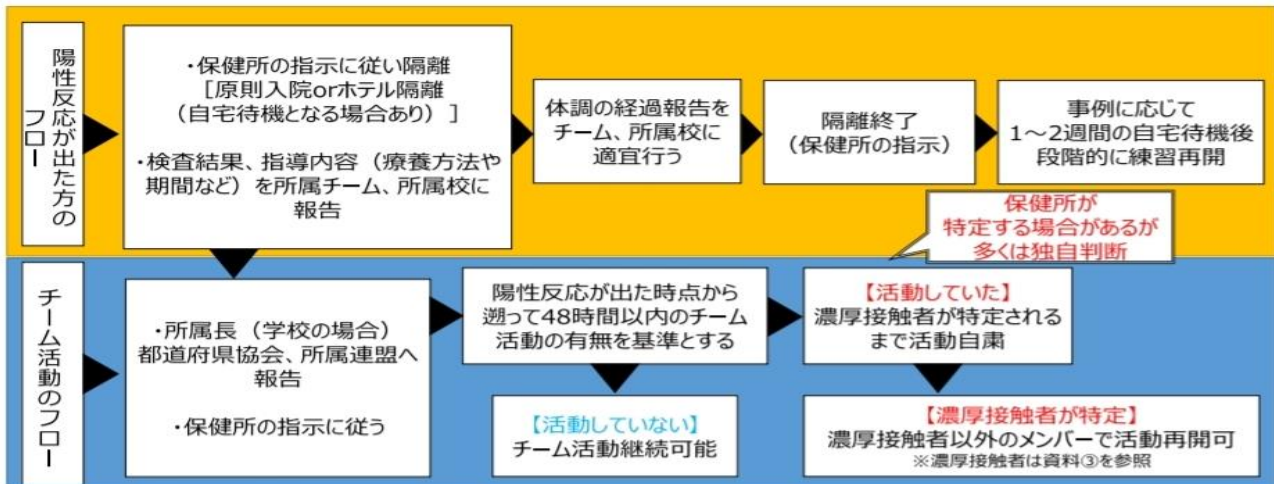
【体調不良の基準】

1. 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合。
2. 重症化しやすい方（高齢者や基礎疾患がある人）で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。
3. 比較的軽い風邪が続く。



【チーム活動時におけるガイドライン】

資料②チーム内選手・スタッフから陽性反応が 出た場合のフロー



学校事情を踏まえた大会参加基準及び活動基準

学校事情	事 象	大 会	備 考	チームとしての活動及び大会
①学校閉鎖	【その学校に属する生徒は】閉鎖期間中	不可	感染、濃厚接触、体調不良に該当しなくても学校が閉鎖している	48時間規定をクリアしているチームはその生徒以外は活動及び大会参加可能
②学年閉鎖	【その学校に属する学年の生徒は】閉鎖期間中	不可	感染、濃厚接触、体調不良に該当しなくても学年が閉鎖している	48時間規定をクリアしているチームはその生徒以外は活動及び大会参加可能
③学級閉鎖	【その学校に属する学級の生徒は】閉鎖期間中	不可	感染、濃厚接触、体調不良に該当しなくても学級が閉鎖している	48時間規定をクリアしているチームはその生徒以外は活動及び大会参加可能

※ ①学校閉鎖（学校感染拡大防止のための臨時休校）の場合【その学校に在籍している】選手、コーチ、チーム関係者対象です。

※参加検討事案が発生した場合は、必ず 保険所、学校に相談されて下さい。

※複数学校が所属するクラブも、参加検討事案が発生した場合、保険所及び学校と相談されて下さい。

※兄弟、姉妹、兄妹、姉弟がいる場合、感染、濃厚、体調不良に該当しないで、どちらかが学校、学年、学級閉鎖になっていたとしても、通常通り学校に通っていた方は、参加可能。

例) 4年の妹は学級閉鎖期間中だから、試合にも練習にも参加できないが、6年兄のクラスは学級閉鎖ではない。
この場合6年の兄は通常通りなので、練習にも大会にも参加できる。

※48時間規定をクリアしていても、参加検討する際は、学校、保険所の指導のもと、チームでよく話しあってください。